

フィリピン大学ロスバノス校への出張報告

(2013年2月2日～2月7日)

報告者：宇賀昭二

1. はじめに

神戸大学基金ならびに英語コース推進費の援助を得て、フィリピン国ロスバノス市にあるフィリピン大学ロスバノス校に出張する機会を得た。出張の目的は保健学研究科の博士課程前期課程2年の学生（堀内沙央里）がフィリピン大学の教員と共同で実施している一連の寄生虫の疫学調査の結果の報告会に参加・指導するためと、英語コースで実施する外国人講師の招聘等に関する打合せを行うためである。

2. 日程

宇賀の日程は以下に示す如くである（堀内も6日までは同行するも、その19日までは一人で滞在）。

2013年2月2日（土曜日）：日本からフィリピンへの移動

2013年2月3日（日曜日）：マニラのホテルにて発表会の準備

2013年2月4日（月曜日）：ロスバノスへの移動・車中で発表会の打ち合わせ

2013年2月5日（火曜日）：発表・報告会、フィリピン大学理学部長表敬訪問

2013年2月6日（水曜日）：フィリピン大学において英語コースの打ち合わせ

2013年2月7日（木曜日）：フィリピンから日本への移動

3. ロスバノス市における一連の研究結果の概説

堀内は私の主催する寄生虫学研究室に所属しており、すでに2011年より当地において2度の調査（2011年9月～10月、2012年2月～3月）を実施してきている。研究テーマは、「Intestinal parasitic infections of school children in Los Baños, Philippines（フィリピン共和国ロスバニョス市のバランガイ・バヨグにおける土壌の寄生虫卵汚染）」と題するものであり、その研究内容はすでに第12回アジア太平洋地域人畜共通寄生虫症学会（2012、神戸）および第68回日本寄生虫学会西日本支部大会（2012、奈良）で報告している（要旨は文末の資料1）。

4. ロスバノス市の小学校における研究成果報告会

2月5日の午前9:30より、ロスバノス市、バヨグ村の小学校において調査研究結果の発表・報告会を実施した。対象は小学校の1-5年生の約200名と教員約10名であった(資料2写真上下参照)。会では、堀内がパワーポイントスライドを用いて約1時間にわたって説明した。その論旨は、①採取した土壌120検体中85検体(71%)から *Ascaris lumbricoides*, *Toxocara cati*, *T. canis*, および *Trichuris trichiura* をはじめとする6属8種の寄生虫卵が検出された。②虫卵汚染は屋内を含む村の広範囲に広がっており、検出された虫卵の50%以上が幼虫包蔵卵にまで発育していた。また、③糞便検査の結果からは学童の63%がSTHに感染していたし、④アンケートの結果からは80%以上のヒトが子供の野外排泄を目撃していたことなどが明らかとなった、などである。以上より、⑤この地域の土壌は広範囲が感染性を持った寄生虫卵によって汚染されており、住民のSTH感染のリスクは極めて高いことが示唆された。

資料1

Soil-transmitted helminth (STH) infections are important diseases of humans. We carried out this survey to clarify the current status of soil contamination by parasite eggs and to assess the risk of STH infection of residents in the Philippines. During two periods of 2011 and 2012, we examined soil, feces, and lifestyle of residents. Six genera and eight species of parasite eggs including *Ascaris lumbricoides*, *Toxocara* spp. and *Trichuris* spp. were recovered from 85 out of 120 soil samples (71%). Contamination of soil by parasite eggs had spread widely throughout the village, and more than 50% of eggs recovered had already developed into fertilized eggs. It is remarkable that *Ascaris* eggs were recovered from inside. Prevalence rate of STH in school children was 63% and more than 80% of school or preschool children had witnessed defecation. This may indicate that school or preschool children cause soil contamination. Some of the eggs recovered were not only from humans but also from dogs and cats. We conclude that the risk of STH infection in residents was extremely high, because the soil in this village was highly contaminated by infective parasite eggs.

資料 2

